平12年

平12年10月14日土曜

日本経済新聞（夕刊）

草加せんべい 浮きながら食べた

宇宙での生活 メールで送信

若田さん

【ジョンソン宇宙センター（テキサス州）13日＝摂待卓】「草加せんべいを、ふわふわと浮きながら楽しくいただきました」――。若田光一さん（37）は十三日夕（日本時間十四日早朝）、宇宙開発事業団が事前にホームページで募集した質問に答える電子メールを「ディスカバリー」から地上に送信し、シャトルでの食生活の様子などを語った。

「宇宙食はおいしいですか」との質問に若田さんは、今回の任務でご飯やみそ汁、シュリンプカクテルなどを食べて「とてもおいしいです」と説明。出身地埼玉県の草加市から送ってもらったせんべいも、無重量のシャトル内で浮遊したままたいらげたことを明らかにした。

ただ「量が少ないのと、（無重量で）胃の中の重さが感じられないのとで、満腹感はかんじられません」とユニークな感想。また、打ち上げの際に着ているオレンジ色の飛行服についての質問には、事故で酸素が失われたり、低温になっても宇宙飛行士を保護する機能がついていることや、宇宙での船外活動で使う白い宇宙服は、セ氏二百度近くにもなる宇宙での温度差に耐えられることなどをていねいに説明していた。

13日、ドッキング後にシャトル内で作業する若田光一さん㊨とマッカーサー飛行士＝NASAテレビ・共同

鳥取県西部地震

女性警官が 避難生活支え

「体は大丈夫ですか」「がんばってくださいね」――。鳥取県西部地震の被災地で、中国地方の各県警から派遣された女性警察官チームが、避難所のお年寄りなどを訪問して相談相手になり、心のケアに一役買っている。

チームは鳥取のほか、島、岡山、島根、山口の各県警が派遣した計約四十人。北海道・有珠山噴火の際、女性警察官でつくる「コスモス隊」でつくるパトロール隊の活動が好評だったため、鳥取県警が各県警に応援派遣を要請、地震発

遺伝子検査結果

保険に利用容認

ハンチントン病

英保健省が解禁

【ロンドン13日＝小平竜四郎】英保健省の遺伝子・保険委員会は十三日、民間の保険会社が生命保険の保険料を決める際に、ハンチントン病の遺伝子検査結果の利用を認めると発表した。検査の結果が「陽性」の契約者は、「陰性」の契約者よりも保険料が高く定されるとみられる。遺伝子検査の結果利用を保険社に解禁するのは世界で初めてという。英消費者団体は「新規の保険契約ができなくなる危険性があり、遺伝子による差別を助長かねない」と問題視して

一九九一年一月一四日、元トラスト地内の立一の反対派の地権者らに、埼